



たもんじ交流農園 便り

Vol.8 2018年11月号

“たもんじ交流農園便り”は、農園であったいろんなこと、これから予定しているイベントや講演会、農園仲間の人となり等、たもんじ交流農園に関する様々な情報を、会員の皆様にお伝えする情報誌です。



たもんじ交流農園事業は、平成30年度すみだの夢応援助成事業に決定致しました。



11/4 秋の収穫祭&ポップコーンパーティ 大盛況!!



11月4日、たもんじ交流農園は大勢の子どもたちと付き添いの大人たちで大賑わい。墨田児童館とたもんじ交流農園のコラボ企画「秋の収穫祭&ポップコーンパーティ」に参加の皆さんだ。

まずは畑周辺の草むしりをしたあと、落花生や菜っ葉類、アピオス、ヤツガシラなどの収穫作業。中で一番人気は何と言っても落花生。その落花生を茹でたのを食べたり、たもんじ交流農園育ちのとうもろこしでポップコーンを作って食べたり。そのほか農園のピザ窯で焼いたピザや肉の塩竈焼きや、特別参加の手打ち蕎麦まであり、収穫の秋、食欲の秋を満喫されたのではないだろうか。この日の体験が、いつまでも楽しい思い出として心に残ってくるととても嬉しいですね。(花田恵美代記)



新シリーズ

うちの畑じまん 第2回 富澤さんご夫妻

【まずは格好から】何も解っていない私が、畑づくりの仲間に入れていただき、出来上がった畑を勢いで借りたものの、どうして良いかわからず先ずは師匠である白田さんの畑仕事スタイルから真似ることに。地下足袋、グローブなどを購入……、もちろん、畑に必要な資材は坂本さん白田さんに聴きまくりなのは言うまでもありません!

【苗を購入】DIY店で獅子唐・ピーマン・ナスの苗を購入(以外に高価でビックリ)どれも元気に育ち沢山収穫できました。

【寺島ナス】苗を分けていただき坂本さんのご指導のもとなんとか江戸野菜を育てられました。一般のナスとの違いに驚きました。



【種を直播きするも・・・】ルッコラ・小松菜・ラディッシュを直播きするが育てられず(害虫にやられました...)

【育苗へ】おくら・枝豆・きゅうり・ゴーヤ・モロヘイヤを自宅で種から育て、畑に移し替えました。おくら・きゅうり・モロヘイヤは大成功!

【秋になり】自宅で人参、ターサイ、芽キャベツの苗作りをし、10月半ばに畑に植え替えました。順調に育ってます、自宅のプランターでも小松菜、ラディッシュ、水菜、ゴボウ、アサツキなどを育てています。

【ターサイです!】あっという間の半年でしたが、夫婦で土曜日の早朝にほぼ毎週通い、楽しい野菜づくりを楽しめました。次の半年も皆様に教えて頂きながらやってみようと思っています。皆様、宜しくお願ひいたします(富澤正佳記)。



今月・来月のたもんじ交流農園スケジュール

ますます楽しい たもんじライフ！ 今後も月一で講演会かイベントを企画して参ります!!

11/24(土) 2~4時	江戸野菜の歴史と農産物生産・販売ブランディング戦略を学ぶセミナー
	中小企業診断士城東支部とのコラボ企画！講演①「農産物の生産と販売戦略・ブランディングの特徴について」(講師:荒木農園代表 荒木大輔氏)、講演②「江戸野菜とおせんざいばた(東向島地区の歴史)」(講師:高木新太郎氏)、会場:多聞寺寺務所、参加費 500 円。要申込み。講演後希望者による懇親会も有り。

寺玉協議会より 江戸に浸かる。にどっぷり浸かって その2 その3

人と人の繋がりを感じた2日間

9月29、30日の2日間、旧向島中学校にて「江戸に浸かる。躍る、魅せる、感じる～こなたに夢」が行われました。ご縁があって今回、総合司会として参加させていただきました。あいにくの悪天候ではありましたが、てらたま協議会の方々をはじめ、地元地域の皆さん、さらには地域を越えて集まった多くの方々のご協力のもと、人と人の繋がりを感ずる2日間を過ごすことができました。大学生の私に



とってあらゆる年代の方々となにかを作りあげる経験は、非常に貴重で未知の世界を開拓するような新鮮さが詰まっていた。司会進行だけではなく、寸劇のナレーターもできたのが個人的に楽しかった思い出です。

なかなか学生のうちにこのようなコミュニティに入る機会は少ないかと思いますが、ぜひ積極的に参加していただきたいです。私達だからこそできることがきっとあるはず。江戸に浸かるのさらなる発展を楽しみにしています。楽しい思い出と貴重な体験をありがとうございました！(望月紗依記)

このまちを一つの家族のように



私は生まれも育ちも渋谷区です。世が世ならお嬢様と呼ばれてもおかしくないはずなのに、なぜかお弁当屋のおばちゃんです(笑)。下町生まれではないのですが、下町での子育て歴は25年の私。ようやく少しずつ子どもたちから手が離れて来た頃、お誘いいただいたのが「江戸に浸かる」第一回屋台ミーティング。たぶんあの時の私はかなり目付きが悪く、長年剣道で通っていた向中に、江戸を作ると本気で熱くなっている人たちの中で、この人たちはかなりうさんくさい集団で、えらいところに来てしまったと後悔していた気がします。それでも言われるがまま、頼まれるがまま、悩みながらも工夫していくうちに、いつのまにか楽しくなり、本番当日が終わる頃には「次は何をしよう」ともう来年のことを考えている自分がいました。そして2年、3年と重ねていくにつれて、すっかりどっぷり浸かっていました(笑)。



桜堤中学校美術部と繋ぎ、橘高校エンタメ部、文教大学ジャグリング部とも繋がって、今年は参加が叶わなかったけど、寺島中学校落語研究部とも来年の出演交渉できました。そしてまさかまさかの自らが35年の封印を解き、スクリーンを使って、和太鼓部とのコラボでの落語を演ることになるとは。不思議な人たちとの不思議なご縁は、思ってもみない方向に進んでいるように見えて、実は「多世代の交流で、このまちを一つの家族のように。」という私の夢を叶える大切な場所になっていました。



さてさて来年は何をやるのかな。楽しいお仲間と一緒に過ごす2日間。これからも私の人生に、楽しく華やかな彩りをもたらしてくれる場として大切にしていきたいなって思っている今日この頃です。(佐々木 直子記)



たもんじ交流農園便り
No.8-般 2018.11.19 発行
題字 田村風来門
編集 末林和之

てらたま協議会 (NPO 法人 寺島・玉ノ井まちづくり協議会)
<http://www.teratamakyougikai.org/diary2.html>
問い合わせ先 小川 剛 (080-3421-3115)

セブン-イレブン記念財団



「たもんじ交流農園便り」は、セブン・イレブン記念財団から頂いた環境市民活動助成金を使用しています。